



ちよとつ猛信

イノシシは阪神ネジのトレードマークです。

後施工アンカー編

コニチワ～。やっと最近、夏の兆しが見える日々がありました。もうすぐ梅雨入りもしますね～。
 日頃、感じてることですが阪神ネジにいてるとネジってどれだけ種類があるねん！？とよく思います。色々ある中で名前カタチは知っているけど、一体どうやって使ってるのかな？曖昧やな～ということが多いです。ほな、勉強していこう！！ってなわけで、アンカーのことをまずは改めて知ろうとなりました。というわけで、早速アンカーについてお話していきたいっ！！と思います。親しみのあるアンカーが出てきますヨ～。

アンカーって何処に使われてて、どうやって使うの??

一度は必ず、耳にしたことがある『芯棒打込み式アンカー』ってどこに使用されているか知っていますか？必ず見たことがあると思います！例えば、野球場などにあるベンチや自動販売機などを固定する為に使用されています！要はコンクリートに固定したい時に使用するんですね。是非一度下を覗き込んで見てください。きっとあると思います

実は最近、阪神ネジで実際にコンクリートにアンカーを打ってみよう！！ということで、実際に打込んでみました。説明だけでは分かりづらかったりしますが、生で施工してる場所を見るとより理解が深まります。この芯棒打込み式アンカーは名前の通り、芯棒をハンマーでバチコン！！と叩いて施工していきます。
 ただ、この芯棒が最後まで打ち付けず浮いていると芯棒打込み式アンカーの強度が発揮できません。
 アンカーは強度が非常に重要なのです！しっかり最後まで打込みましょう

最後まで打込んだ写真です。



芯棒が浮いている写真です。



実際の現場を
写真を撮ってきました

次はスリーブ打込み(オネジ)式アンカーについて行ってみましょう。このアンカーは看板取り付けの時やフェンス取り付けるときなどに使用されています。これもよく見るものなので、一度見てみてください。見つけると感動ですよ～。

このアンカーは、スリーブの長さや埋め込み深さが一緒にならないといけません。このことによってスリーブが確実に地面につきまします。そして専用ハンドホルダーを用いて手ごたえが変わるまでハンマーで打込んでいきます！そうすることでテーバー部にそって確実に拡張して固着するんです！芯棒打込み式アンカーと違うことは専用工具がいること・埋め込み深さが違うこと・引き抜き強度が違うことなんですよ～

アンカーってた～くさんあります。メーカーさんによって呼び名も違うんです。例えば、芯棒打込み式アンカーのことをオールアンカーといったりタイトアンカーといったりと様々です。ちなみにスリーブ打込み式アンカーのことをボルトアンカーやセットアンカーといったりします。

こんだけ種類があるのはどうしてかな～と考えた時に発案者の人が、お客様に求められて、細かい要望に応えた結果、こんだけの種類が現在できあがったのかな～と思いました。たくさんのネジたちを発明してきた人達の、ものづくりに対して地道な努力の結晶なんだなと感じました。



阪神ネジでこんなアンカーも体験しちゃいました。タップスターという商品なのですが、用途は芯棒打込み式アンカーと似ています。めったにない機会なので、貴重な体験が出来ました。初めて使う工具などもあったりして楽しかったです。また、ひとつ新しいことが知れてハッピーです。

アンカーみたいにたくさん得た知識が頭から抜けられないようにしたいですね。ウシッッ～

今月のちよとつ猛信は
営業部 関 孝幸
営業部 北村 玲子
が担当いたしました。



以外に、身の回りには見たことのあるネジがたくさん使われています！今回勉強して、アンカーの使用場所とかが身近であることが分かってウキウキしました。身の回りでネジたちを見つけてみようと思います。

みなさんも見つけたら教えて下さいね

「ちよとつ猛信」は名刺交換させて
頂いた方に送らせて頂いております。
ご意見、ご感想、配信停止はコチラまで
阪神ネジ株式会社 広報部
TEL 06-6458-3491
FAX 06-6458-8777
E-mail press@hanshin-neji.com